

問題の主題は、要するに日本の新文学に及び  
 したるロシア文学の影響如何といふにあるべ  
 く候。この問題に對しては、その影響の有無  
 は既に論ずるに及ばず、その程度範囲が考  
 一ものなるべく候。しかたならず、この問題  
 を比較的遺憾なく解説せんには、執り考察の  
 範囲を總論の一般文明においで擴げ行かざるべ  
 かり。随つて問題は題の大なり、一々半日  
 の考察にしてその解釈を求めんことは、容易な  
 らずと存じ候。且、ついでに一方よりいへば、こ

十ノ廿

感と懐くものに保、序をなすか、この問題と  
 も多少の關係あるやうに存じ申し候。此  
 等の國民的意義を以て、この問題の主題は

十ノ廿

勿論、~~論~~ 賛成を、これ亦た猶刻下  
 の事情を以て、執したる論にはあらざるやと疑は  
 れ候。

天弦生

十ノ廿